

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年7月18日(2019.7.18)

【公表番号】特表2018-519108(P2018-519108A)

【公表日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-027

【出願番号】特願2017-568196(P2017-568196)

【国際特許分類】

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

A 6 1 M 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 27/00

A 6 1 M 1/00 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月14日(2019.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

流体不透過性であるケーシングと、

前記ケーシング内に配置された吸収性コアと、

前記ケーシング内で前記吸収性コアの周囲に配置されたマニホールドであって、疎水性である第1側と親水性である第2側とを備えるマニホールドと、

前記マニホールドに流体結合された入口ポートと、

前記マニホールドに流体結合された出口ポートと、

を備えることを特徴とする滲出液容器。

【請求項2】

請求項1に記載の滲出液容器において、

前記マニホールドが分配エンベロープを備え、

前記第1側が前記分配エンベロープの内側であり、

前記第2側が前記分配エンベロープの外側である

ことを特徴とする滲出液容器。

【請求項3】

請求項1に記載の滲出液容器において、前記第1面が疎水性層を含み、前記第2面が親水性層を含むことを特徴とする滲出液容器。

【請求項4】

請求項1に記載の滲出液容器において、前記マニホールドが不織布を含むことを特徴とする滲出液容器。

【請求項5】

請求項1に記載の滲出液容器において、前記マニホールドがポリエスチル繊維のテキスタイルを含むことを特徴とする滲出液容器。

【請求項6】

請求項1に記載の滲出液容器において、前記マニホールドが本質的にポリエスチル繊維からなることを特徴とする滲出液容器。

【請求項7】

請求項 1 に記載の滲出液容器において、前記マニホールドが本質的に、前記吸収性コアの周囲に多孔質エンベロープを形成するポリエステル纖維からなることを特徴とする滲出液容器。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の滲出液容器において、前記マニホールドが結合ポリエステル纖維を含むことを特徴とする滲出液容器。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の滲出液容器において、前記吸収性コアが超吸収性ポリマーを含むことを特徴とする滲出液容器。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の滲出液容器において、前記吸収性コアが前記マニホールド内に封入されていることを特徴とする滲出液容器。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の滲出液容器において、前記吸収性コアが前記マニホールド内で拡張可能であることを特徴とする滲出液容器。

【請求項 12】

請求項 1 に記載の滲出液容器において、前記マニホールドが、
前記吸収性コアに隣接して配置された疎水性エンベロープと、
前記疎水性エンベロープの周囲に配置された親水性エンベロープと、
を備えることを特徴とする滲出液容器。

【請求項 13】

請求項 1 に記載の滲出液容器において、前記マニホールドが、乾燥したポリエステルおよび親水性、異型ポリエステルの二層不織布ならびに 2 成分纖維の 2 層不織布を含むことを特徴とする滲出液容器。

【請求項 14】

請求項 1 乃至 13 の何れか一項に記載の滲出液容器において、
前記出口ポートを通る液体透過を阻止するように構成されたフィルタ
をさらに備えることを特徴とする滲出液容器。

【請求項 15】

陰圧療法を提供する装置において、
負圧源と、
前記負圧源に流体結合された出口ポートを備える容器と、
前記容器内に配置されかつ前記出口ポートに流体結合された親水性層と、
前記容器内に配置された吸収性コアと、
前記吸収性コアと前記親水性層との間に配置された疎水性層と、
を備えることを特徴とする装置。

【請求項 16】

請求項 15 に記載の装置において、前記容器が、前記親水性層に流体結合された入口ポートをさらに備え、前記親水性層が、前記出口ポートと前記入口ポートとの間で前記吸収性コアの周囲に流体を集配するように構成されていることを特徴とする装置。

【請求項 17】

請求項 15 に記載の装置において、前記疎水性層が前記吸収性コアの周囲にエンベロープを形成していることを特徴とする装置。

【請求項 18】

請求項 15 に記載の装置において、前記疎水性層が前記吸収性コアの周囲に第 1 エンベロープを形成し、前記親水性層が前記疎水性層の周囲に第 2 エンベロープを形成していることを特徴とする装置。

【請求項 19】

請求項 15 に記載の装置において、前記親水性層が前記疎水性層に結合されていることを特徴とする装置。

【請求項 2 0】

請求項 1 5 に記載の装置において、
前記親水性層が結合親水性ポリエステル繊維を含み、
前記疎水性層が結合ポリエステル繊維を含み、
前記吸収性コアが超吸収性ポリマーを含む
ことを特徴とする装置。

【請求項 2 1】

請求項 1 5 に記載の装置において、
前記親水性層が織親水性ポリエステル繊維を含み、
前記疎水性層が織ポリエステル繊維を含み、
前記吸収性コアが超吸収性ポリマーを含む
ことを特徴とする装置。

【請求項 2 2】

請求項 1 5 に記載の装置において、
前記親水性層が不織布の第 1 側であり、
前記疎水性層が前記不織布の第 2 側である
ことを特徴とする装置。

【請求項 2 3】

請求項 1 5 に記載の装置において、
前記親水性層に流体結合された入口ポートと、
前記入口ポートに結合されるように構成されたドレッシングと、
をさらに備えることを特徴とする装置。

【請求項 2 4】

滲出液を管理する装置において、
吸収性コアと、
前記吸収性コアの周囲に配置された疎水性シェルと、
前記疎水性シェルの周囲に配置された親水性シェルと、
を備えることを特徴とする装置。

【請求項 2 5】

請求項 2 4 に記載の装置において、
前記疎水性シェルが不織布の第 1 側であり、
前記親水性シェルが前記不織布の第 2 側である
ことを特徴とする装置。

【請求項 2 6】

請求項 2 4 に記載の装置において、前記疎水性シェルが前記吸収性コアの周囲にエンベロープを形成していることを特徴とする装置。

【請求項 2 7】

請求項 2 4 に記載の装置において、前記親水性シェルが前記吸収性コアの周囲にエンベロープを形成していることを特徴とする装置。

【請求項 2 8】

請求項 2 4 に記載の装置において、前記親水性シェルが前記疎水性シェルの周囲にエンベロープを形成していることを特徴とする装置。

【請求項 2 9】

請求項 2 4 に記載の装置において、前記親水性シェルが流体を集配するように適合されていることを特徴とする装置。

【請求項 3 0】

請求項 2 4 に記載の装置において、前記疎水性シェルが流体を集配するように適合されていることを特徴とする装置。

【請求項 3 1】

請求項 2 4 に記載の装置において、前記疎水性シェルおよび前記親水性シェルが流体を

集配するように適合させていることを特徴とする装置。

【請求項 3 2】

請求項 2 4 に記載の装置において、
前記疎水性シェルが前記吸収性コアに接して配置され、
前記親水性シェルが前記疎水性コアに接して配置されている
ことを特徴とする装置。

【請求項 3 3】

請求項 2 4 に記載の装置において、
前記親水性シェルを封入する流体不透過性壁を備えるケーシングと、
前記親水性シェルに流体結合された流体入口と、
前記親水性シェルに流体結合された流体出口と、
をさらに備えることを特徴とする装置。

【請求項 3 4】

滲出液容器と、
前記滲出液容器内に配置された吸収性コアと、
前記吸収性コアの周囲の分配エンベロープであって、第 1 側、第 2 側、および前記第 1 側から前記第 2 側まで増大する疎水性を含む分配エンベロープと、
を備えることを特徴とする装置。

【請求項 3 5】

請求項 3 4 に記載の装置において、前記第 1 側が流体分配面を含み、前記第 2 側が流体獲得面を含むことを特徴とする装置。

【請求項 3 6】

請求項 3 4 に記載の装置において、前記分配エンベロープが不織布を含み、前記不織布が、疎水性である第 1 層と親水性である第 2 層とを含むことを特徴とする装置。

【請求項 3 7】

請求項 3 4 乃至 3 7 の何れか一項に記載の装置において、前記流体出口に流体結合された負圧源をさらに備えることを特徴とする装置。

【請求項 3 8】

陰圧療法システムのキャニスター内の流体を管理する方法において、
前記キャニスターの入口ポートを通して流体を受け取るステップと、
前記入口ポートに流体結合された分配エンベロープ内の前記流体から液体を取り込むステップと、
前記分配エンベロープから、前記分配エンベロープに隣接する吸収性コアに前記液体を移動させるステップと、
前記キャニスターの出口ポートを通して前記流体からガス透過させるステップと、
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 3 9】

請求項 3 5 に記載の方法において、前記分配エンベロープが、
分配層と、
前記分配層に結合された獲得層と、
を備えることを特徴とする方法。

【請求項 4 0】

請求項 3 6 に記載の方法において、
前記分配層が、前記吸収性コアの周囲に配置された疎水性シェルであり、
前記獲得層が、前記疎水性シェルの周囲に配置された親水性シェルである
ことを特徴とする方法。

【請求項 4 1】

請求項 3 5 に記載の方法において、前記出口ポートを通して液体が出て行くのを防止するように前記流体をフィルタリングするステップをさらに含むことを特徴とする方法。